

小
01

上野美農里の会（小山町）

～丹沢山系からの豊富な伏流水の恵み多き里山～



田畑の耕作物を鳥獣から守る為電柵を設置して共存共生を図ってます。

田植えの前に水路を清掃して、水田に湧水を導きます。



組織形態

農業者、非農業者、小学校

所在地

小山町上野

取組面積

水田 17 ha、畑 3 ha / 合計 20 ha

活動内容

農地維持、資源向上支払（共同）

ひとことメッセージ

年間を通して水温13度の豊富な丹沢山系伏流水の恵みを受け、古くから稲作が盛んな地域です。30～70代のメンバー30名ほどで邑の水田、農道や水路の整備保全を行うとともに、近年多発している鳥獣害の被害から地域の田畑を守るため、電柵の設置と管理活動を通して、豊かな邑の里山を後世に繋ぎ残すための活動をしています。

小
02

吉久保地域資源保全会（小山町）

～地域の農地は構成員の共同作業によって保全すべき～



保全会の結束の意志と社会への取組宣言（県道沿い）

大きな斜面も共同で作業すれば楽しくて速い（地元紙でも紹介された）



組織形態

農業者、非農業者

所在地

小山町吉久保

取組面積

水田 29 ha 畑 2 ha / 合計 31 ha

活動内容

農地維持、資源向上支払（共同）、資源向上支払（長寿命化）

ひとことメッセージ

この取組は、7年経過し、今では地域を代表する事業としてしっかり定着しています。中山間地ゆえの厳しさは、年ごとに作業箇所改良を重ね持続性を高めています。会の規模は6圃場、構成員59名の大世界帯ですので、圃場毎の副会長の号令により実態に見合う活動もしています。終わりはありません、これからもずっと続けて農地を守ります。

小
03

上野南部みのり会（小山町）

～富士山からの伏流水に恵まれた米どころ～



遊休農地にコスモスやひまわりを
開花させ景観を維持しています。

電気柵や侵入防止ネットを設置し、
地域ぐるみで鳥獣被害の対策に取り
組んでいます。



組織形態

農業者、NPO、自治会

所在地

小山町上野

取組面積

水田 12 ha 畑 1 ha / 合計 13 ha

活動内容

農地維持、資源向上支払（共同）

ひとことメッセージ

この地域は富士山東麓に位置し、富士山からの伏流水による稲作が盛んな地域です。農業者28名で農用地、農道及び水路の保管理をしています。また、鳥獣被害対策に取り組んでいます。さらに、遊休農地を活用し花畑やホタルの里づくりを行い、景観形成や生態系の保全も取り組んでいます。

小
04

境沢水利環境保全会（小山町）

～環境を守り、清らかな川でおいしい米を作っています～



泥上げ作業で、水源の保全管理

山の中の水路沿いにおいて、定期的に草刈り作業を実施



組織形態

農業者

所在地

小山町一色

取組面積

水田 6 ha、畑 0.1 ha / 合計 6 ha

活動内容

農地維持

ひとことメッセージ

先祖代々受け継がれてきた「みくりや」の地に、富士山の伏流水で育てた地域の特産品である、ごてんばコシヒカリ、水掛菜等をこれからも作り続けるため、環境保全活動を続けていきます。

小
05

一色鳥見塚環境保全会（小山町）

～地域資源の保全と心なごむ農村環境づくり～



水路の泥上げ作業等、地域資源の適切な保全管理に努めます。

花壇を整備するなど、地域の景観をさらに美しく整備します。



組織形態

農業者、非農業者、シニアクラブ

所在地

小山町一色

取組面積

水田 13 ha、畑 0.5 ha / 合計 14 ha

活動内容

農地維持、資源向上支払（共同）

ひとことメッセージ

富士山の雪解け水を源流とした清流や周囲に広がる水田などは、この地域の米づくりに欠かせないものであるとともに、地域住民の日常生活に潤いを与える重要な地域資源となっています。この豊かな地域資源を住民が協働で保全管理しながら、心なごむ農村環境づくりを進めます。

小
06

棚頭営農資源保全会（小山町）

～継続的で適切な営農資源の保全管理～



水源貯水池周辺地の草刈り作業

水源貯水池周辺地の大きい法面の草刈り作業



組織形態

農業者、自治会

所在地

小山町棚頭

取組面積

水田 11ha、畑 3ha / 合計 13ha

活動内容

農地維持、資源向上支払（共同）

ひとことメッセージ

棚頭地域は、富士山東麓の中山間地に位置し、先祖代々の農地・農業用排水路等の資源を地域で守り、利用することで良質米の生産に努めています。しかしながら、先々の高齢化や後継者不足に備え、農業負担軽減を図ることを目的に、今後も後継者や担い手が管理しやすい農用地作りを行っていきます。

小
07

阿多野営農資源保全会（小山町）

～水菜発祥の地、阿多野用水の保全活動に取り組んでいます～



農業者と自治会が一体となり、ほ場周辺の草刈り、ゴミ拾いなど環境整備を実施

阿多野用水の保全活動及びその歴史や恵みについて、地元中学校で講演しました



組織形態	農業者、自治会
所在地	小山町阿多野
取組面積	水田 22 ha 畑 1 ha / 合計 23 ha
活動内容	農地維持、資源向上支払（共同）

ひとことメッセージ

この地域の阿多野用水は、寛文12年（1672年）に約1.1Km先の水源地から用水路を整備し、そのうち約1.5Kmの隧道を切り開く大工事を行いました。その後350年にわたり、先人から引き継がれた阿多野用水の水量を毎月計測し、定期的に水路周辺の環境整備（草刈り等）を行うなど、農業者、自治会で保全活動を行っています。

小
08

井多野開田環境資源保全会（小山町）

～次世代に引き継ぐ健全な農地と景観を目指して～



広大な法面を皆で協力して
安全第一で草刈り

快適な農環境と景観をいつ
までも守ります



組織形態

農業者、自治会

所在地

小山町一色

取組面積

水田 4 ha 畑 1 ha / 合計 5 ha

活動内容

農地維持、資源向上支払（共同）

ひとことメッセージ

昭和30年代に先人が開田した貴重な土地を、大型機械の導入による省力化を推進して営農を持続するために“令和の大工事”を敢行し再整備しました。新東名高速道路から黄金の稲穂越しに見える富士山という素晴らしい景観を維持し、大切な地域資源として次世代に引き継いでいきます。

小
09

用沢原堰水路組合（小山町）

～富士山のふもとの美しい田園風景～



川からの取水口にある沈砂溝に溜まった土砂を除去し、水路を維持。きれいで豊かな水がエリアを潤す。

田の法面の除草は景観維持のためにも必要。特に大きな法面は皆で協力して行い、個人の負担軽減と連帯感を高めてコミュニティを維持する。



組織形態

農業者

所在地

小山町用沢

取組面積

水田 3 ha / 合計 3 ha

活動内容

農地維持

ひとことメッセージ

富士山を望む田園地帯で、隣接している道の駅には県内外から旅行者も多くいらっしやいます。富士山の美しさに負けないよう水路、農道、田の法面等景観の維持向上のために活動しています。また、高い生産性が難しい中山間地の稲作を維持していくため、コミュニティの維持も重要です。